

## 水土里レポート 投稿様式

投稿月日	平成28年6月29日
タイトル	学校のみんなで田植えをしたよ！
水土里レポーター名	水土里ネット福山 佐々田 愛

平成28年6月8日（水）福山市立金江小学校全児童117名が、金江小学校のすぐ近くの田んぼで田植えをしました。

金江小学校は、福山市金江町及び柳津町に誇る水土里ネット福山の「南部工区」という地区にあり、昭和43年度から昭和45年度に当時の南部土地改良区が事業主体となり「ほ場整備事業」が施行された地域です。近年も排水機や揚水機の保全等土地改良事業を施行しており、小学校の農業体験も水土里ネット福山の役員や組合員が積極的に取り組んでいます。

朝9時より水土里ネット福山の小川正光総代が管理するほ場300㎡で、一学年ごと田植えをしました。すぐ近くの小学校から歩いてほ場まで子ども達がやってきました。

まずは3年生から田植えです。田植えは3回目になり子ども達は楽しみにしていたようです。きれいに代掻きされた田んぼへ一番に入ります。慎重に田んぼの淵を歩いて、みんなで一斉に田んぼへ入りますが、最初の一步がなかなかできません。歓声をあげながら田んぼへ入り、植え始めました。はえ縄の印にあわせて苗を植えていきます。植え始めると昨年を思いだし、ドンドン植えてしまいました。7列植えたところで、他の学年の植えるところがなくからと終わりました。みんな、もっと植えたいようでしたが渋々田んぼから上がっていました。



まずは苗の持ち方をレクチャー！



最初の一步がなかなか出ません！

続いて4年生が田んぼに入り田植えをしました。4年生も慣れたもので上手に田植えをしました。続いて2年生が田植えです。昨年は1年生で6年生と一緒に植えたので、自分達だけで植えるのは初めてです。小川さんが、苗を3本取るやり方や植える時、親指、人差し指、中指の3本で持って植え、土の中で親指を離すように教えておられました。元気一杯の2年生は「田んぼで泳ぎたい！」と言う子もいて、楽しそうに植えていました。



地域の方や先生も一緒に田植えです！



1年生は初めての田植えにドキドキ！

続いて1年生と6年生と一緒に田んぼに入ります。6年生は1年生の手をひいて、ゆっくりと入っていました。1年生は、まだ小さく歩くだけでも大変そうでしたが、6年生に教えられ植え方も上手になりました。

最後は5年生が田植えです。5年生は1年を通じて稲作に携わるようになっており、籾蒔きをして育苗した苗を朝学校から運び、田植えの準備をしていました。田植えも慣れたものであったと言いついに終わりました。

学校へ帰る時は、みんなで大きな声で「ありがとうございました」とお礼を言っていました。



田んぼから上がった子ども達は、近くの用水路で手足の泥を流して学校へ帰って行きました。

小さな用水路ですが、前日の雨で水に勢いがあり、水温も低くて子ども達は「冷たい！」と言いながら足手をじゃぶじゃぶと洗っていました。

「用水路って便利よね！」と聞こえました。しかし水量が多い時は危険が伴いますね。

田植えが終わると学校の校庭へ地域の方と5年生が集まり交流する場が設けられました。地域の方と話をしたり肩をたたいてあげたりして和気あいあいと微笑ましい場になっていました。5年生はこれから稲の成長を観察していくそうです。



地域の方へ元気一杯にお礼を言いました！



みんな自然と笑顔がこぼれます！

金江町では、水土里ネット福山の役員、組合員が大変積極的に農業体験に取り組んでおられ、これから稲刈りまで指導をされるそうです。水土里ネット福山は、この取り組みに協力することで、21世紀土地改良区創造運動に取り組んでまいります。